

# 【緊急調査】 特定集中治療室管理料の見直しに関する調査

（調査期間：令和6年6月3日～14日）



一般社団法人 日本病院会

## ○調査概要

### 調査目的

令和6年度診療報酬改定における特定集中治療室管理料の見直しに関する影響を把握することを目的とする。

### 調査方法

調査対象病院にEメール及びFAXによって調査票を送付し、回答、回収を行った。

### 調査期間

令和6年6月3日（月）～6月14日（金）

### 調査対象

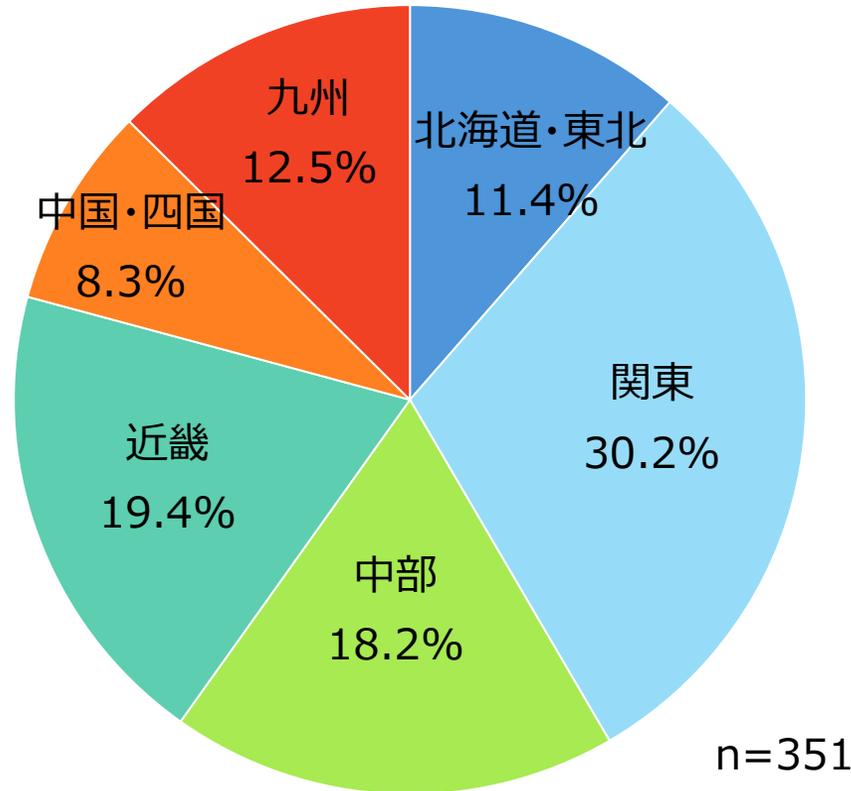
令和5年6月現在に特定集中治療室管理料を届け出ている全国の病院（583病院、うち会員病院：477病院、非会員病院：106病院）

### 回答数

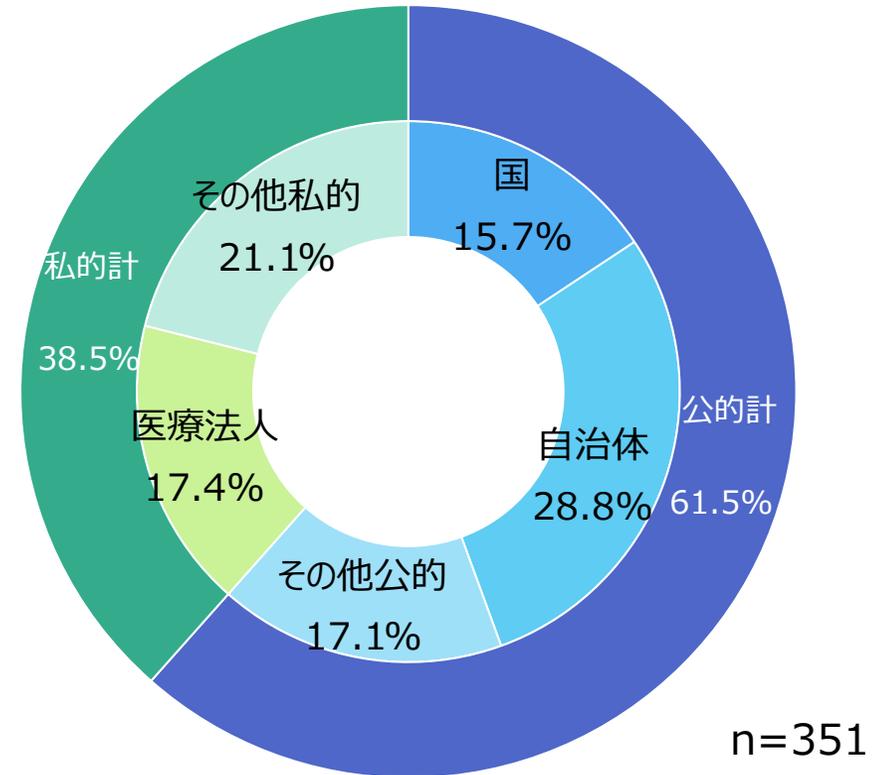
351病院（回答率60.2%）うち 会員病院：293病院（61.4%）  
非会員病院：58病院（54.7%）

○回答病院\_基本情報

地域別割合

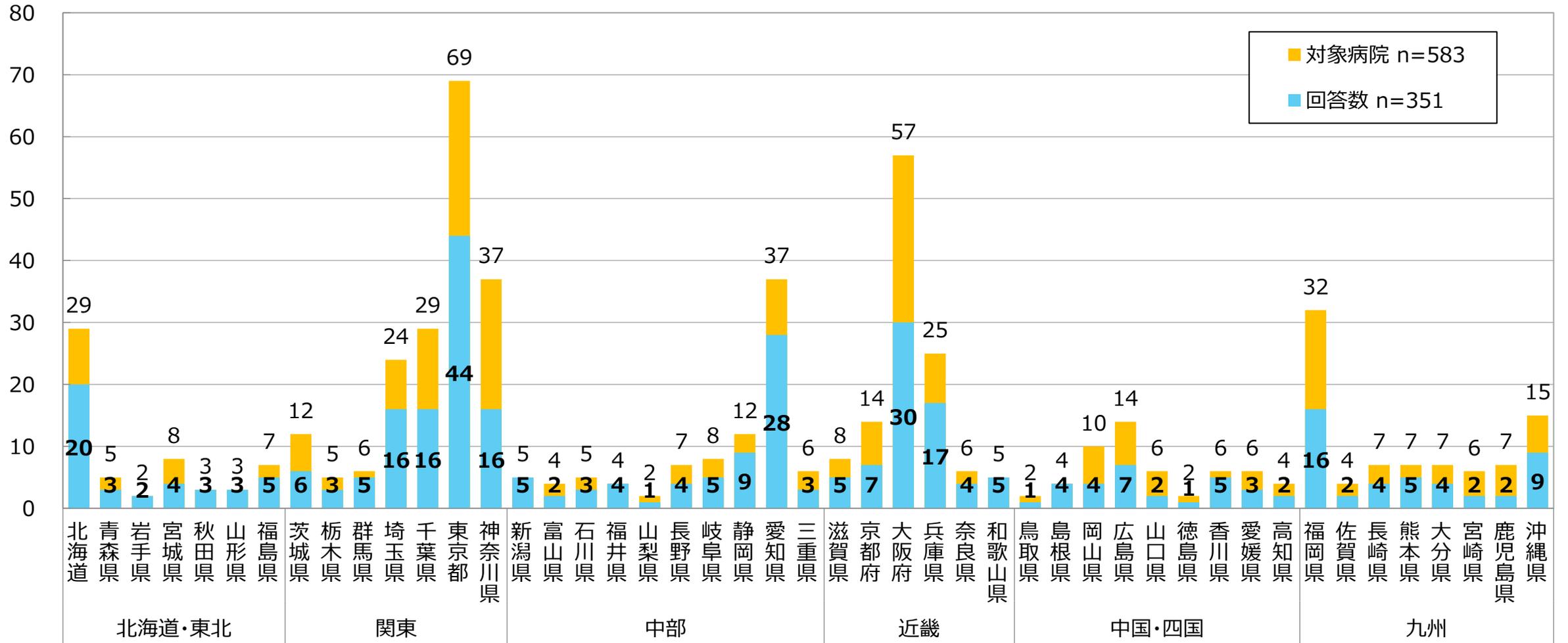


開設者主体別割合



○回答病院\_基本情報2

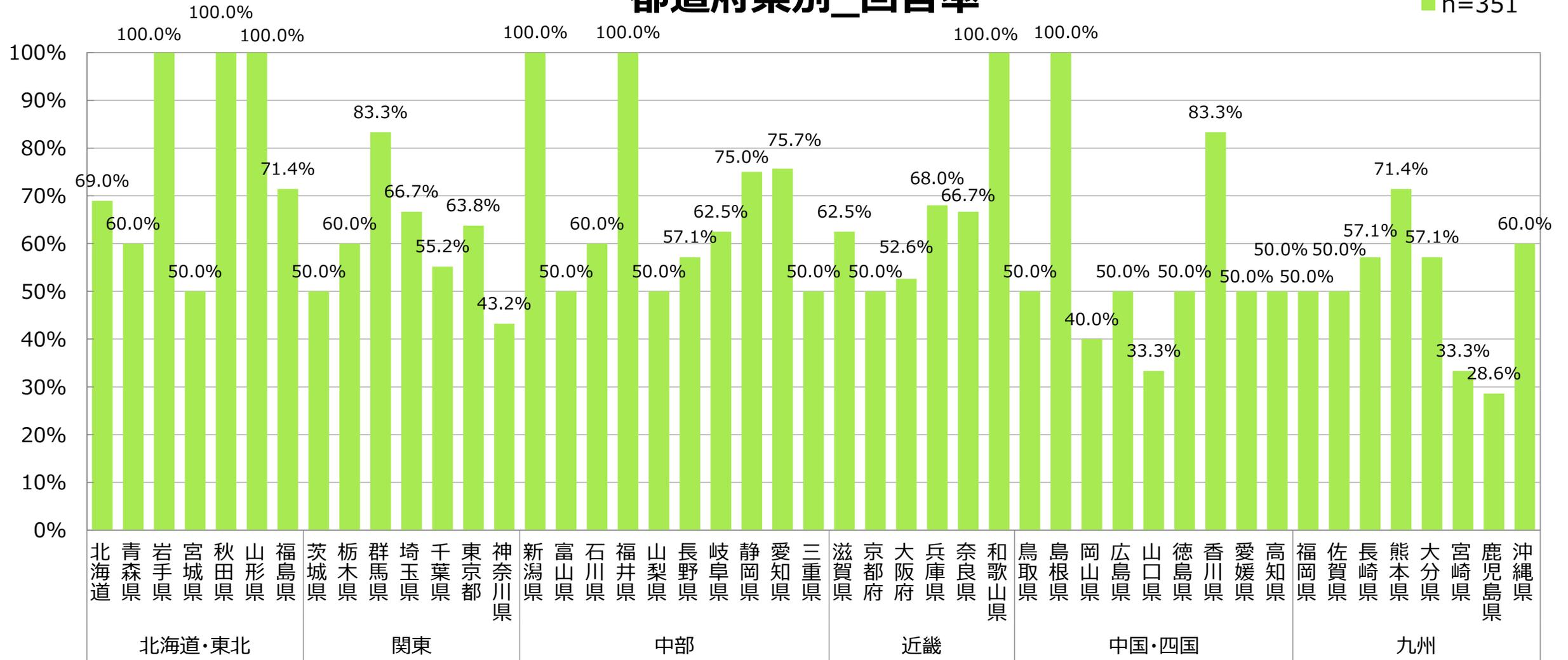
都道府県別\_対象病院および回答数



○回答病院\_基本情報3

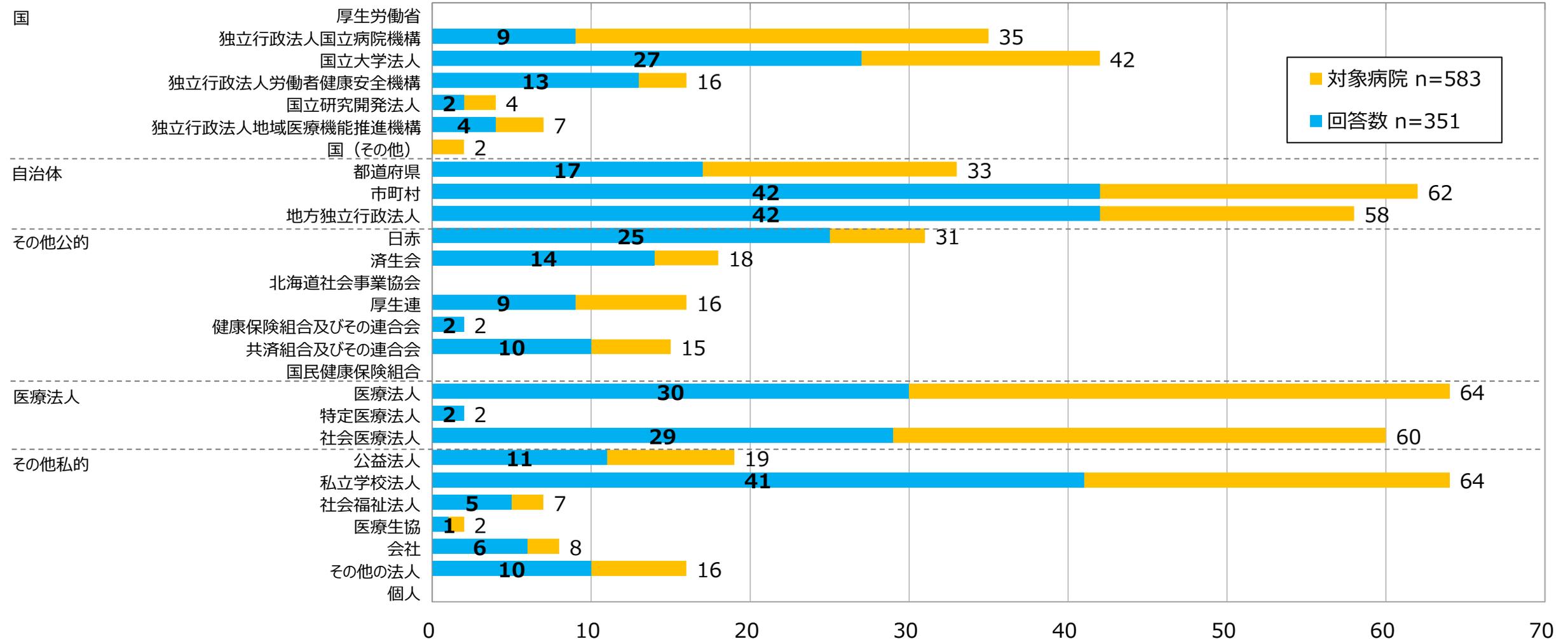
都道府県別\_回答率

■ n=351



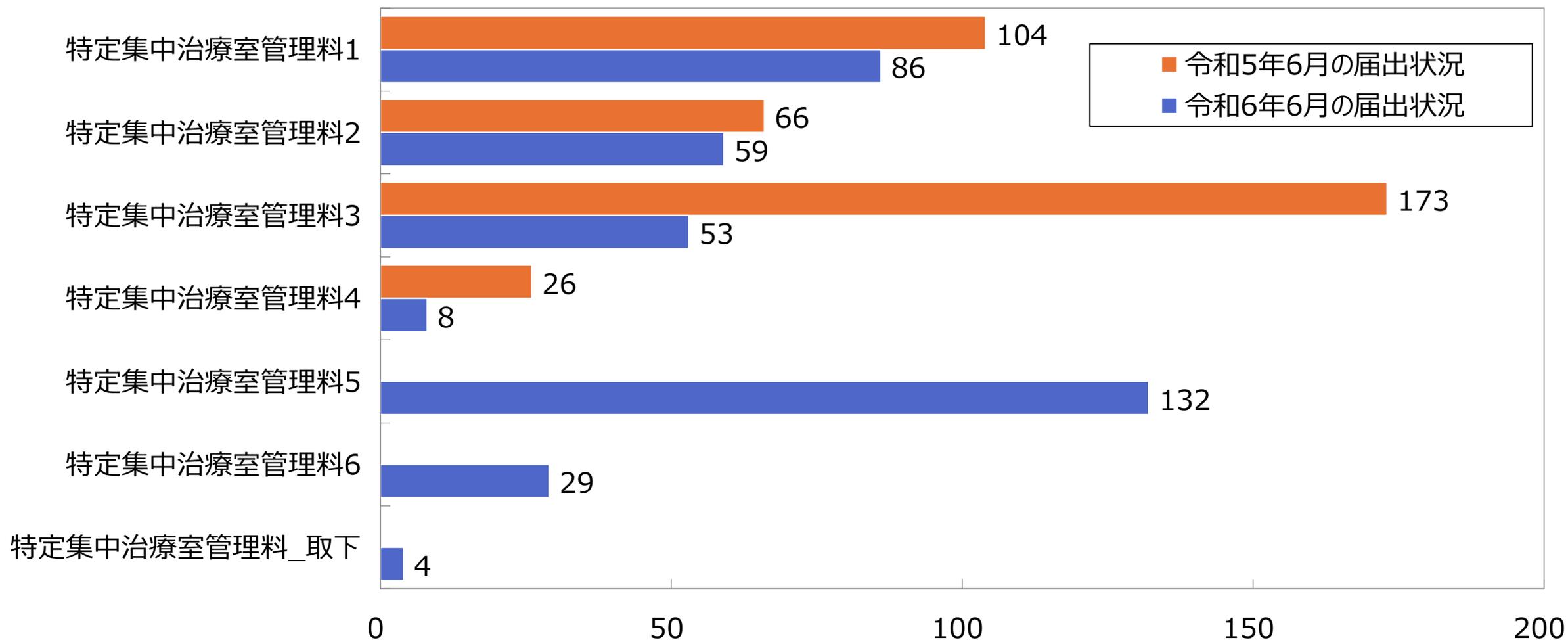
○回答病院\_基本情報4

開設主体別\_対象病院及び回答数



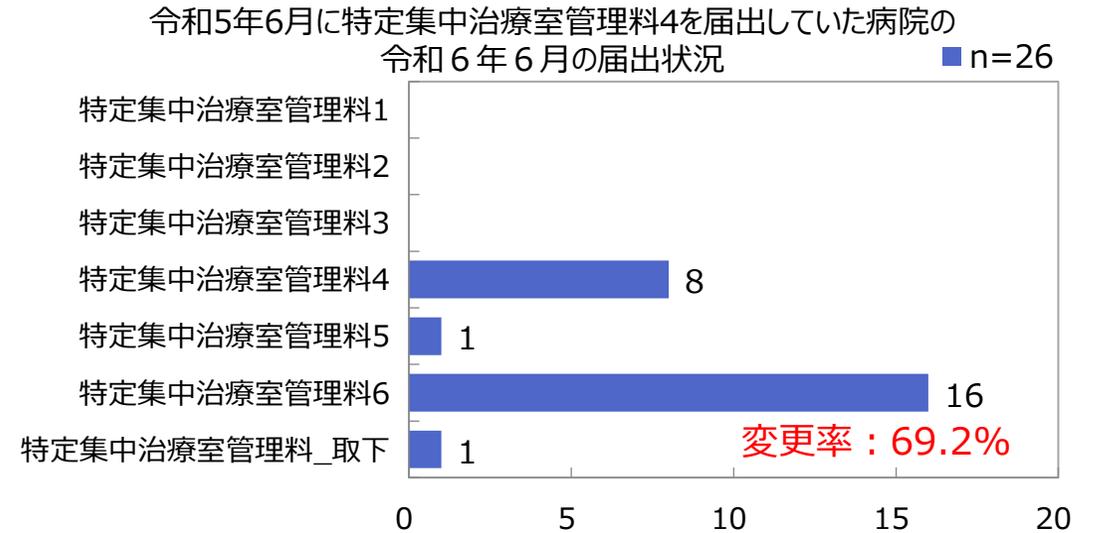
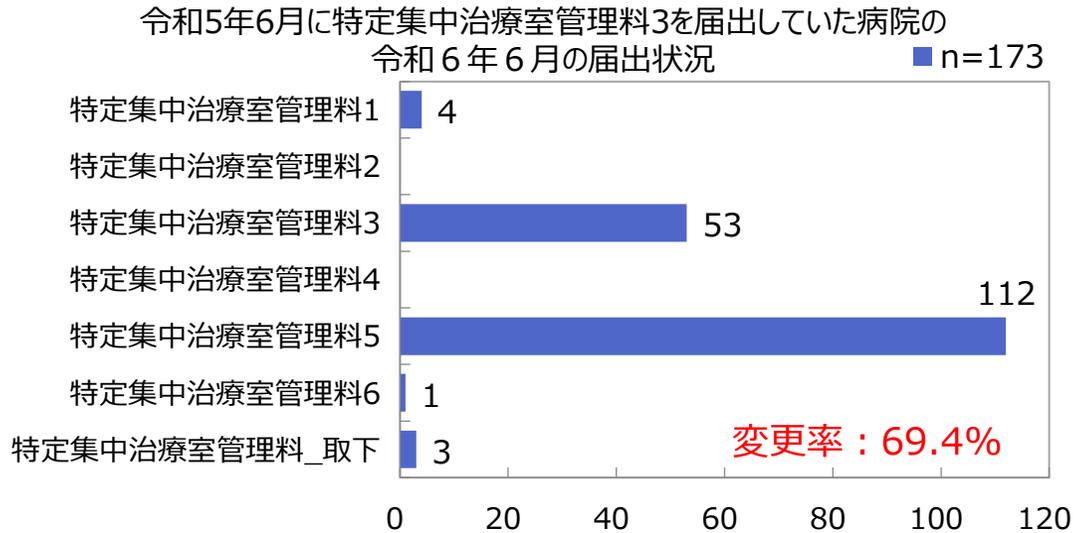
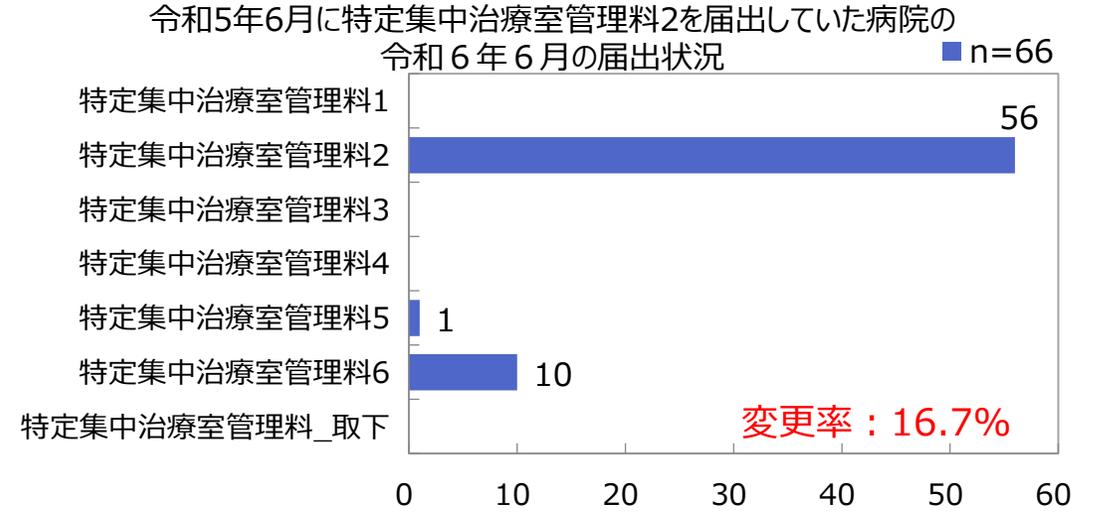
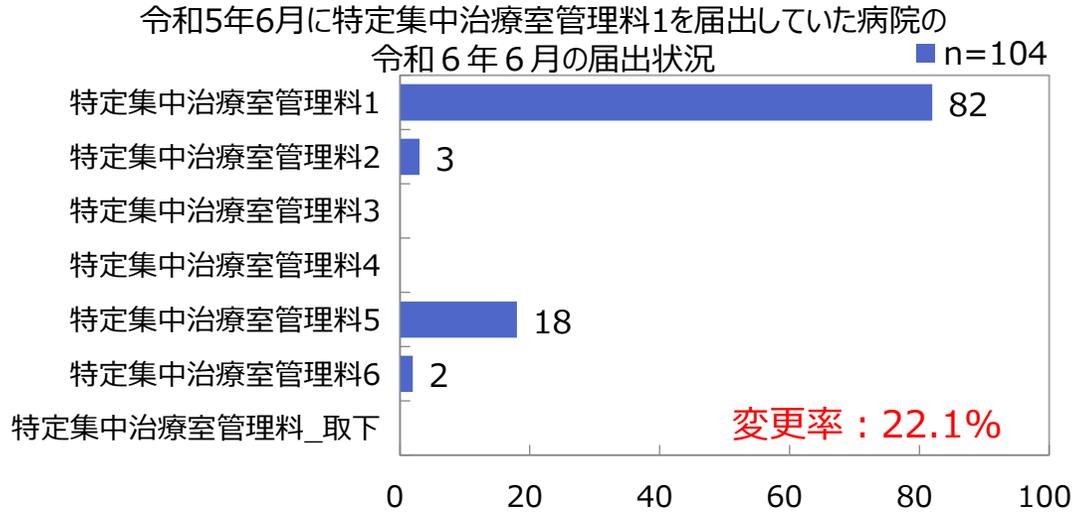
## ○ Q1 特定集中治療室管理料の届出状況について

## 特定集中治療室管理料の届出状況 (n=351) ※複数回答あり



# ○ Q1 特定集中治療室管理料の届出状況について\_管理料別

全体の変更率：49.0%



○ Q2-1 特定集中治療室管理料1・2からの変更、もしくは取下げ理由 (n=30)  
(複数回答あり)

令和5年6月1日付で特定集中治療室管理料1・2を届出していた病院

当該治療室の専任の医師に、特定集中治療の経験を5年以上有する医師を  
2名以上含むことができなくなったため

**専任の医師が当該治療室において宿日直に勤務を行っているため  
(交代勤務制が組めないため)**

集中治療を必要とする患者の看護に従事した経験を5年以上かつ集中治療を必要とする  
患者の看護に係る適切な研修を修了した専任の常勤看護師の配置が困難であるため

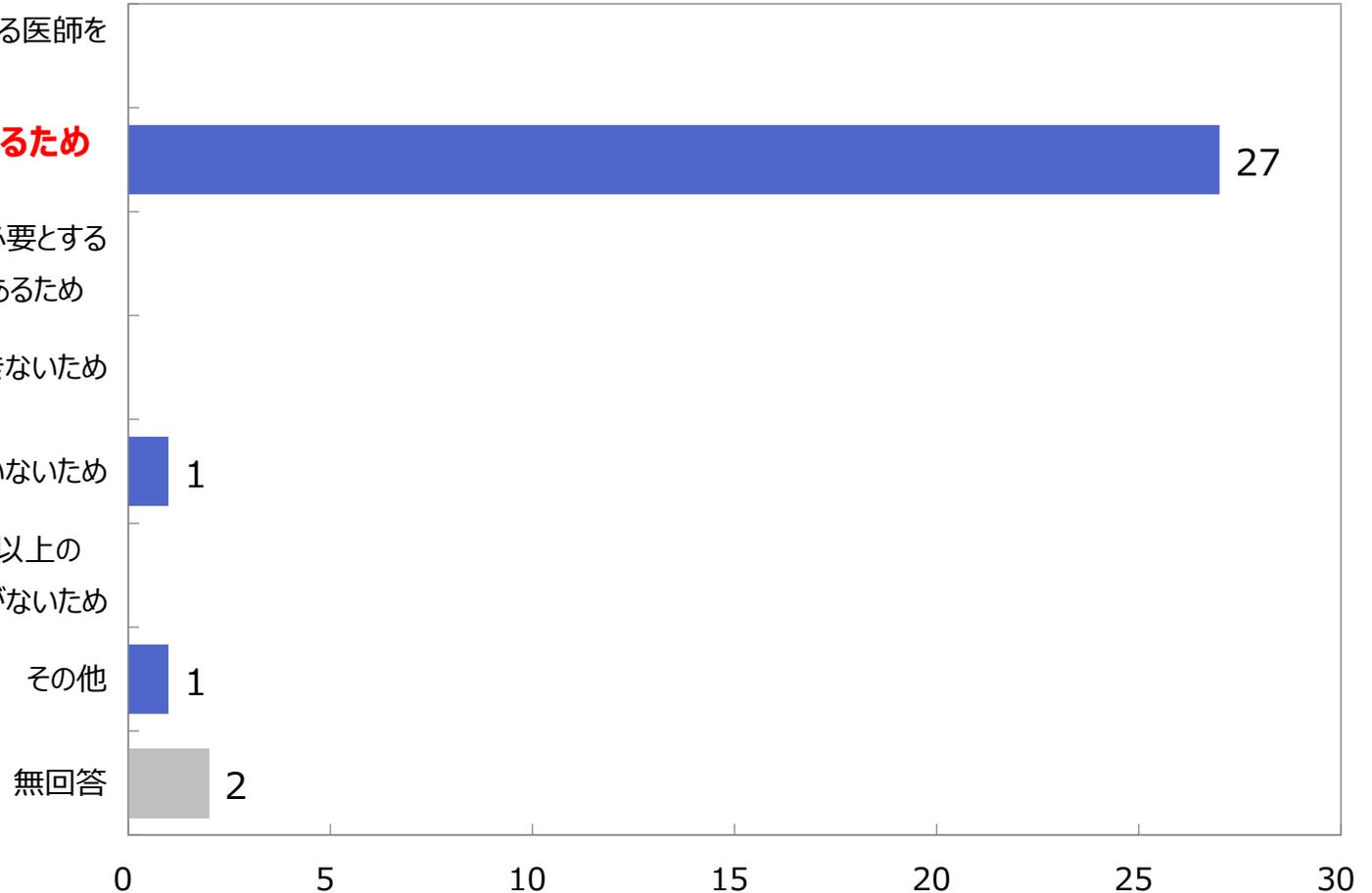
専任の臨床工学技士が、常時、院内に勤務できないため

重症度、医療・看護必要度Ⅱによる評価で、基準を満たす患者が8割以上いないため

直近1年の間に新たに治療室に入室する患者のうち、入室日のS O F Aスコア5以上の  
患者が1割以上を満たすことが困難であるため、もしくはS O F Aスコアの測定実績がないため

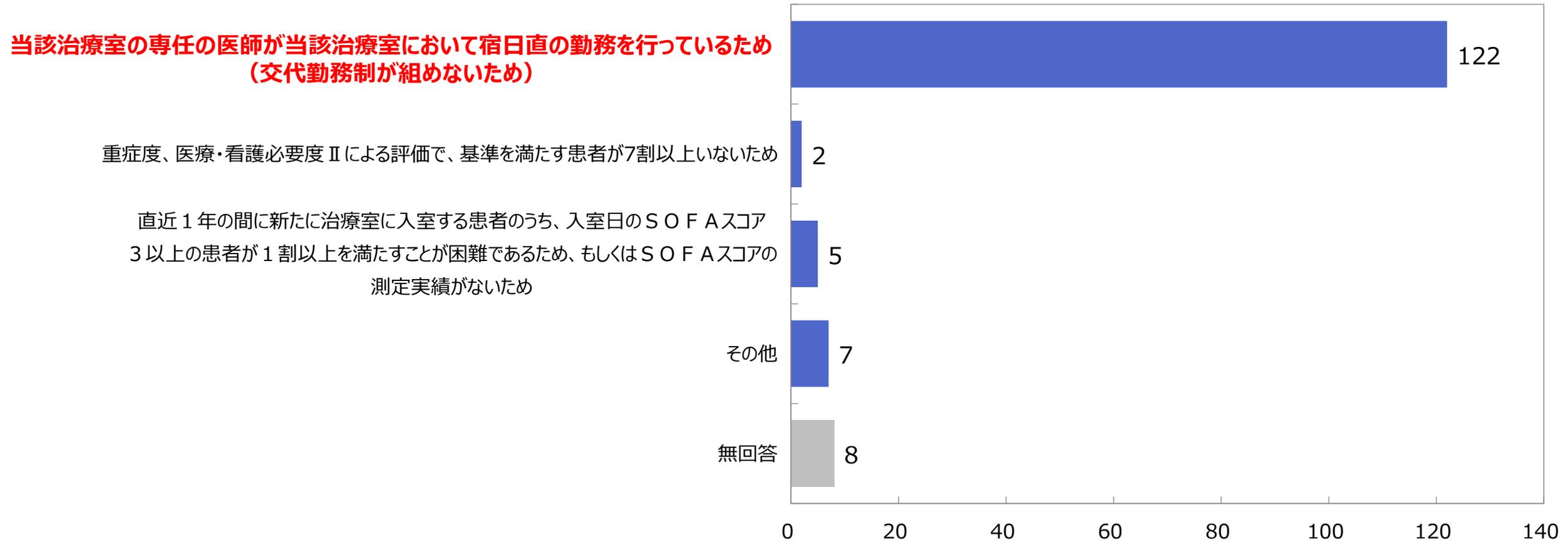
その他

無回答



○ Q2-2 特定集中治療室管理料3・4からの変更、もしくは取下げ理由（n=134）  
（複数回答あり）

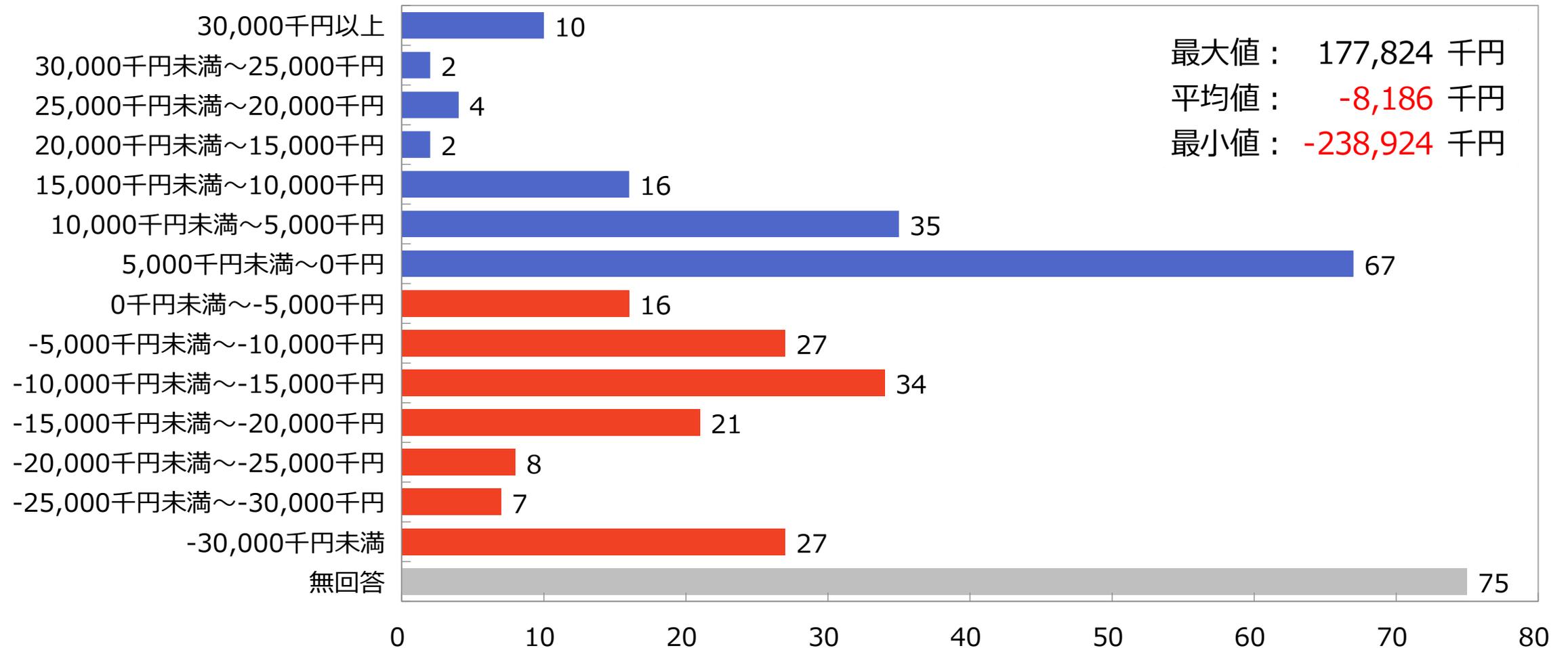
令和5年6月1日付で特定集中治療室管理料3・4を届出していた病院



○ Q3-1 令和6年度の診療報酬改定に伴う特定集中治療室管理料の収入差額（予想される収入増減額）

令和6年度の診療報酬改定に伴う特定集中治療室管理料の収入差額\_全体

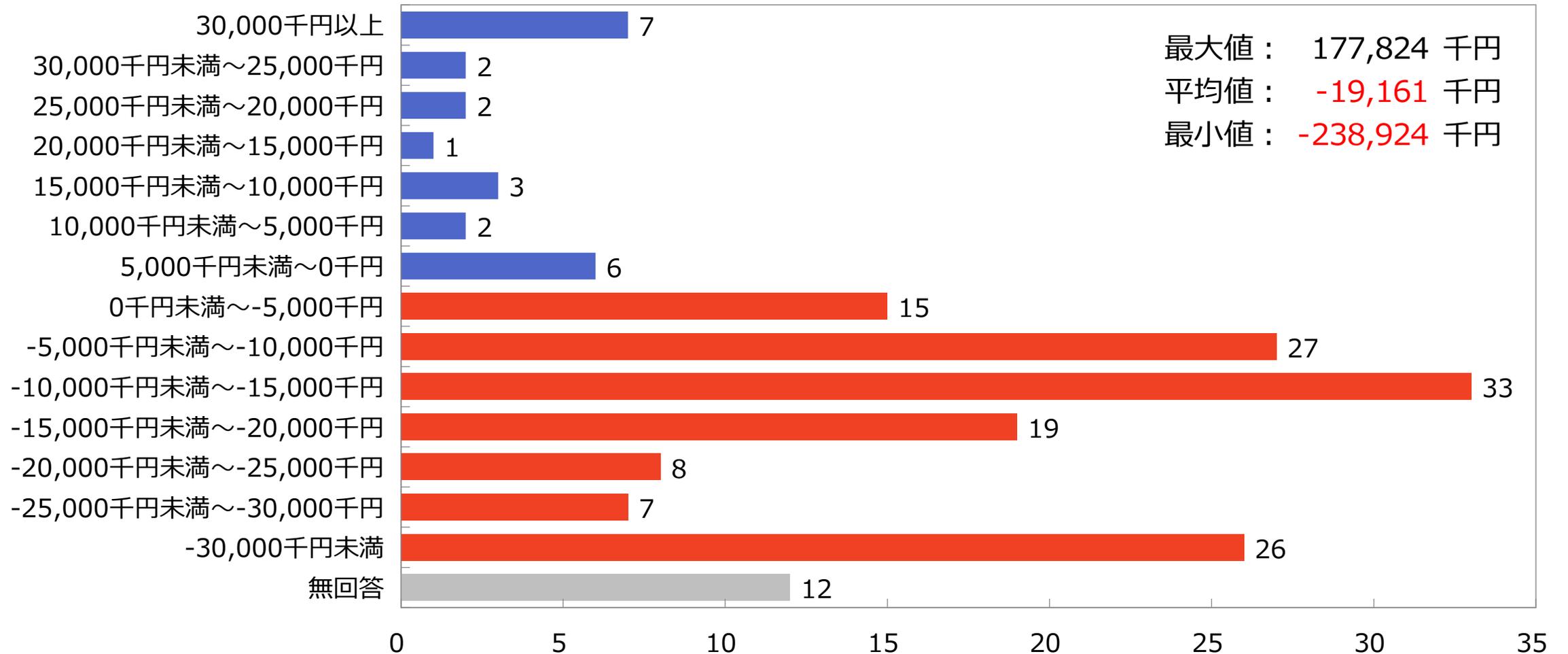
n=351



○ Q3-2 令和6年度の診療報酬改定に伴う特定集中治療室管理料の収入差額（予想される収入増減額）

令和6年度の診療報酬改定に伴う特定集中治療室管理料の収入差額\_管理料変更有

n=170



## ○ Q4 その他ご意見

医師の宿日直勤務から交代勤務への移行の困難さと医師不足問題に関する意見	21件
医師の宿日直勤務から交代勤務への変更による経営への影響に関する意見	12件
特定集中治療室管理料における基準の見直し及び経過措置の要望に関する意見	12件
財政措置の要望に関する意見	6件
特定集中治療室管理料だけでなく、救命救急入院料等の調査要望に関する意見	5件
宿日直勤務と交代勤務におけるアウトカムに関する懸念	3件